

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第16週 （4月18日～4月24日）

## ★お知らせ

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第15週の4.53から第16週では5.00とほぼ横ばいですが、高知市、幡多、安芸で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ロタウイルスが26例報告され、また基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）も5例報告されるなど、ロタウイルスの報告が多くなっています。

ロタウイルス感染性胃腸炎は、通常2日間の潜伏期間をおいて発症し、主に乳幼児に急性胃腸炎を引き起こします。

感染を広げないようにするには、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが必要です。手洗いは指輪や時計をはずし、石けんで30秒以上もみ洗いします。衣類が便や吐物で汚れたときは、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）でつけおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。ロタウイルスにはアルコールなどの消毒薬ではあまり効き目がありません。

予防方法は、任意による予防接種がありますので、かかりつけの医療機関にお尋ねください。

### ○伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第15週の0.17から第16週では0.23と増加しています。安芸で増加し、警報値を超えています。

伝染性紅斑は、10～20日の潜伏期間の後、両頬に境界鮮明な紅い発しんが現れます。続いて体や手・足に網目状の発しんが広がりますが、これらの発しんは、通常1週間程度で消失します。多くの場合、頬に発しんが出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発しんが現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。

予防接種はありません。予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。

### ○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第15週の0.00から第16週では0.07となっています。高知市では注意報値を超えています。

百日咳は、感染力が強いですので注意してください。予防法はうがい、手洗い、咳エチケットです。感染の恐れがある人は、咳やくしゃみをする時にティッシュやマスクを口と鼻にあて、他人への飛沫感染を防ぎましょう。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

### ○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第15週の5.25から第16週では3.40と減少していますが、安芸では増加しています。高知県全域と全保健所管内で注意報値である10.00は切りましたが、まだ流行は続いているので引き続き注意が必要です。迅速検査ではインフルエンザA型9%、B型91%となっています。

病原体検出情報では、Influenza virus B/Yamagata 3例 Victoria 1例が検出されています。

今後も、手洗い、咳エチケットを心がけて下さい。アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。普段からの健康管理も重要です。栄養と睡眠を十分に取り、抵抗力を高めておくこともインフルエンザの発症を防ぐ効果があります。

また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

## ○流行性耳下腺炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第15週の0.47から第16週では0.47と横ばいですが、須崎、幡多、安芸では増加しています。また、須崎からは、流行のきざしがありとのコメントが寄せられています。

流行性耳下腺炎は接触、あるいは飛沫感染で伝播しますが、その感染力はかなり強く、2～3週間の潜伏期（平均18日前後）を経て発症し、片側あるいは両側の唾液腺の腫れを特徴とする感染症です。通常1～2週間で軽快します。一方、感染してもほとんど症状が現れないまま経過する人が30～35%あるとされています。最も多い合併症は髄膜炎で、その他髄膜脳炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴、睪炎などを認める場合があります。

予防方法は、任意による予防接種がありますので、かかりつけの医療機関にお尋ねください。

## マダニの感染症(日本紅斑熱・SFTS)注意！

日本紅斑熱1例の届け出がありました。

これらの感染症はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。

マダニの活動が盛んな、春から秋に多くの発生が見られることから、農作業やレジャーなどで、森林や草むら、藪などに入る場合には十分注意しましょう。長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、マダニに噛まれる事を予防して下さい。

マダニに噛まれた場合も痛みがなく気がつかない場合が多いといわれています。

マダニは、人や動物に取りつくとき皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日から10日間以上かけて吸血します。

吸血中のマダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの体液が逆流したり、マダニの一部が皮膚内に残って化膿する場合がありますので、医療機関を受診し、処置してもらってください。

### 発熱等の症状がでたとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに刺されたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）



：急増



：増加



：横ばい



：減少

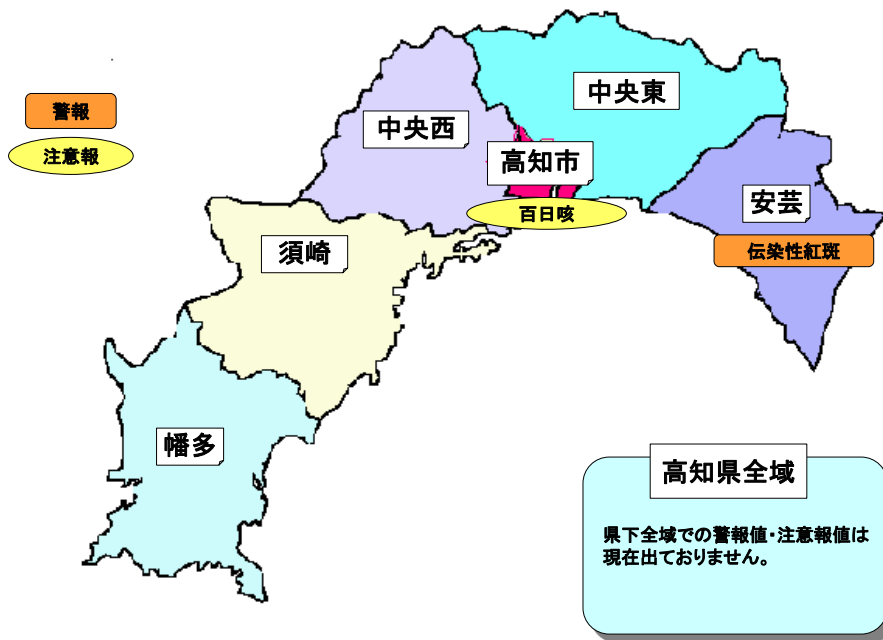


：急減

16週（4月18日～4月24日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		5.00	高知市、幡多、安芸で増加しています。
インフルエンザ		3.40	安芸では増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.00	須崎で増加しています
流行性耳下腺炎		0.47	須崎、幡多、安芸では増加しています。
突発性発疹		0.40	中央西、幡多、須崎で増加しています。

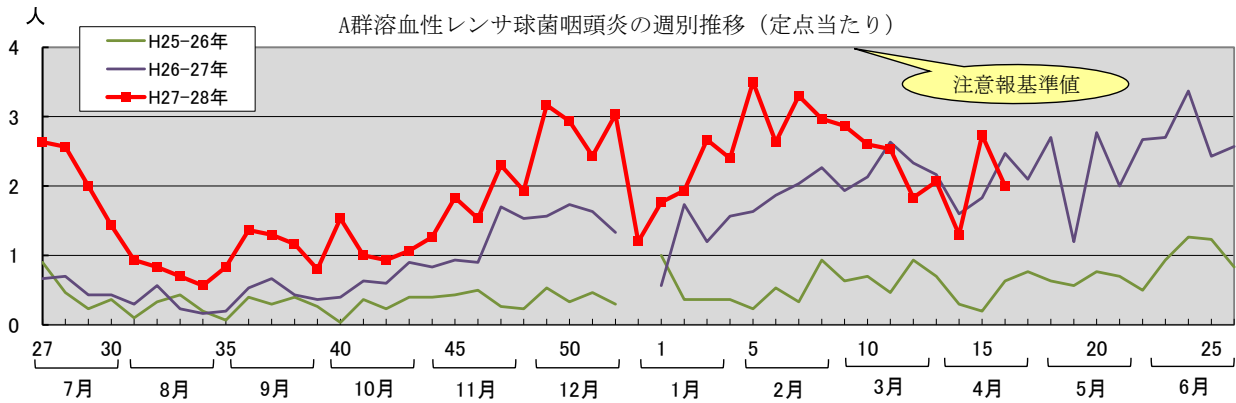
★地域別感染症発生状況





○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第16週：2.00 （注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり2.00（前週：2.73）と減少しています。地域別にみると、須崎1.00（前週：0.00）で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
16	インフルエンザ	12	女	高知市	Influenza virus B/Victoria
16	インフルエンザ	59	女	須崎	Influenza virus B/Yamagata

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
15	インフルエンザ	8	女	幡多	Influenza virus B/Yamagata
15	インフルエンザ	4	男	幡多	Influenza virus B/Yamagata
15	手足口病	1	男	高知市	Coxsackievirus A14

★全数把握感染症

第16週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	35	20歳代男	高知市
		1	36	50歳代女	中央東
		1	37	80歳代女	高知市
4類	日本紅斑熱	1	4	80歳代女	安芸
5類	梅毒	1	4	60歳代男	中央東
		1	5	40歳代男	高知市
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	6	70歳代男	
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	9	80歳代女	
	後天性免疫不全症候群	1	4	50歳代男	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	インフルエンザB型5例
		h MPV感染症1例 (6ヶ月)
		ロタウイルス胃腸炎7例 (8ヶ月、1歳2人、2歳、3歳、4歳2人)
	おひさまこどもクリニック	サルモネラ腸炎1例(2歳女)
野市中央病院小児科	インフルエンザ B型2例 ワクチン接種2回済み (6歳女)	
	ワクチン1回済み (4歳女)	
高知市	けら小児科・アレルギー科	ロタ(+) アデノ(+) 1例 (11ヶ月男)
		カンピロバクター腸炎2例 (12歳男、13歳女)
		病原性大腸菌O-1腸炎1例 (6歳男)
		マイコプラズマ肺炎1例 (13歳女)
		ロタウイルス腸炎2例 (1歳男、3歳女)
		h MPV肺炎1例 (2歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	百日咳1例 (13歳女：PT-IgG100EU/ml以上)
		百日咳1例 (41歳男)
		インフルエンザ・溶連菌感染症 同時感染1例 (5歳男)
	国立病院機構高知病院小児科	溶連菌感染症7例
		インフルエンザ1例 A型0例 B型1例
	細木病院小児科	感染性胃腸炎の2歳女児1名についてはロタウイルスに罹患。
		キャンピロ1例 (6歳女)
高知医療センター小児科	ロタ3例 (1歳男、5歳女、13歳男)	
	アデノウイルス2例 (10ヶ月男、1歳男)	
	病原性大腸菌2例 (0ヶ月女、2ヶ月男)	
	ロタウイルス1例 (4歳男)	
中央西	石黒小児科	単純ヘルペス1例 (6歳男)
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎1例 (11歳男)
ヒトメタニューモウイルス感染症3例 (1歳男2人、1歳女)		
須崎	もりはた小児科	感染性胃腸炎ロタ陽性11例 (ロタによる流行が続く) ムンプス流行の兆し有
幡多	さたけ小児科	h-MPV2例 (0歳男、1歳男)
		マイコプラズマ肺炎1例 (0歳男)
		インフルエンザ7例 全てB型
	幡多けんみん病院小児科	h MPV陽性2例 (11ヶ月女、1歳女)
	こいけクリニック	h MPV肺炎1例 (1歳女)
渭南病院小児科	顎下腺炎2例 (5歳男、11歳男)	

## ■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年4月5日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年4月8日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-%E3%82%B8%E3%82%AB%E7%86%B1/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）（ジカウイルス感染症に関するQ&A、流行地域など）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

## ★全国情報

### 第14週（4月4日～4月10日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核319例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症15例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎8例、A型肝炎7例、つつが虫病2例、デング熱9例、日本紅斑熱1例、マラリア2例、レジオネラ症14例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8例、急性脳炎10例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、後天性免疫不全症候群18例、侵襲性インフルエンザ菌感染症5例、侵襲性肺炎球菌感染症41例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒59例、播種性クリプトコックス症4例、破傷風2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん2例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎2例、つつが虫病2例、デング熱2例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8例、急性脳炎10例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒21例、播種性クリプトコックス症1例、風しん3例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

※第17週（4月25日から5月1日）の週報は、5月4日（水）が祭日となることと連休の影響で各定点医療機関からの報告が遅れるため、第18週との合併号として、5月11日（水）に発行します。



高知県感染症情報(58定点医療機関)

第16週 平成28年4月18日(月)～平成28年4月24日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第16週							計	前週	全国(15週)	高知県(16週末累計)		全国(15週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/4/24				H28/1/4～H28/4/17		
インフルエンザ	インフルエンザ		26	26	60	7	8	36	163 ( 3.40)	252 ( 5.25)	25,007 ( 5.06)	14,782 ( 307.96)	1,533,263 ( 309.69)		
小児科	咽頭結核熱							3	3 ( 0.10)	8 ( 0.27)	841 ( 0.27)	43 ( 1.43)	15,597 ( 4.94)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	26	6	2	17	60 ( 2.00)	82 ( 2.73)	7,238 ( 2.30)	1,173 ( 39.10)	129,565 ( 41.03)			
	感染性胃腸炎	6	32	61	15	17	19	150 ( 5.00)	136 ( 4.53)	18,257 ( 5.79)	3,161 ( 105.37)	312,639 ( 99.00)			
	水痘			1				1 ( 0.03)	( )	945 ( 0.30)	107 ( 3.57)	19,100 ( 6.05)			
	手足口病							( )	1 ( 0.03)	107 ( 0.03)	11 ( 0.37)	1,470 ( 0.47)			
	伝染性紅斑	4		1	2			7 ( 0.23)	5 ( 0.17)	1,155 ( 0.37)	95 ( 3.17)	24,767 ( 7.84)			
	突発性発疹		3	3	2	1	3	12 ( 0.40)	10 ( 0.33)	1,502 ( 0.48)	133 ( 4.43)	18,403 ( 5.83)			
	百日咳			2				2 ( 0.07)	( )	48 ( 0.02)	27 ( 0.90)	597 ( 0.19)			
	ヘルパンギーナ		1					1 ( 0.03)	6 ( 0.20)	116 ( 0.04)	10 ( 0.33)	766 ( 0.24)			
	流行性耳下腺炎	1		3		4	6	14 ( 0.47)	14 ( 0.47)	2,589 ( 0.82)	248 ( 8.27)	39,538 ( 12.52)			
RSウイルス感染症			4	1		5	10 ( 0.33)	29 ( 0.97)	633 ( 0.20)	540 ( 18.00)	20,243 ( 6.41)				
眼科	急性出血性結核炎							( )	( )	6 ( 0.01)	( )	120 ( 0.17)			
	流行性角結核炎							( )	( )	381 ( 0.55)	5 ( 1.67)	6,398 ( 9.30)			
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	8 ( 0.02)	( )	119 ( 0.25)			
	無菌性髄膜炎			1				1 ( 0.13)	( )	20 ( 0.04)	3 ( 0.38)	257 ( 0.54)			
	マイコプラズマ肺炎			1				1 ( 0.13)	2 ( 0.25)	144 ( 0.31)	64 ( 8.00)	3,664 ( 7.73)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	1 ( 0.13)	6 ( 0.01)	23 ( 2.88)	134 ( 0.28)			
	感染性胃腸炎			5				5 ( 0.63)	12 ( 1.50)	340 ( 0.72)	210 ( 26.25)	3,260 ( 6.88)			
計 (小児科定点当たり人数)		37 ( 12.00)	71 ( 8.79)	168 ( 12.92)	33 ( 10.07)	32 ( 14.00)	89 ( 15.10)	430 ( 12.06)		59,343	20,635 ( 492.90)	2,129,900			
前週 (小児科定点当たり人数)		25 ( 8.50)	127 ( 14.93)	190 ( 14.29)	64 ( 17.87)	45 ( 18.00)	107 ( 16.08)		546 ( 14.95)						

注 ( ) は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第16週							計	前週	全国(15週)	高知県(16週末累計)		全国(15週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/4/24				H28/1/4～H28/4/17		
インフルエンザ	インフルエンザ		6.50	2.36	3.75	1.40	2.00	4.50	3.40	5.25	5.06	307.96	309.69		
小児科	咽頭結核熱							0.60	0.10	0.27	0.27	1.43	4.94		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.29	2.36	2.00	1.00	3.40	2.00	2.73	2.30	39.10	41.03			
	感染性胃腸炎	3.00	4.57	5.55	5.00	8.50	3.80	5.00	4.53	5.79	105.37	99.00			
	水痘			0.09				0.03	( )	0.30	3.57	6.05			
	手足口病							( )	0.03	0.03	0.37	0.47			
	伝染性紅斑	2.00		0.09	0.67			0.23	0.17	0.37	3.17	7.84			
	突発性発疹		0.43	0.27	0.67	0.50	0.60	0.40	0.33	0.48	4.43	5.83			
	百日咳			0.18				0.07	( )	0.02	0.90	0.19			
	ヘルパンギーナ		0.14					0.03	0.20	0.04	0.33	0.24			
	流行性耳下腺炎	0.50		0.27		2.00	1.20	0.47	0.47	0.82	8.27	12.52			
RSウイルス感染症			0.36	0.33		1.00	0.33	0.97	0.20	18.00	6.41				
眼科	急性出血性結核炎							( )	( )	0.01	( )	0.17			
	流行性角結核炎							( )	( )	0.55	1.67	9.30			
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	0.02	( )	0.25			
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13	( )	0.04	0.38	0.54			
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13	0.25	0.31	8.00	7.73			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	0.13	0.01	2.88	0.28			
	感染性胃腸炎			1.00				0.63	1.50	0.72	26.25	6.88			
計 (小児科定点当たり人数)		12.00	8.79	12.92	10.07	14.00	15.10	12.06			492.90				
前週 (小児科定点当たり人数)		8.50	14.93	14.29	17.87	18.00	16.08		14.95						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869